



命を知る、命を学ぶ。

助産学専攻科

Midwifery Diploma Course

GUIDE BOOK 2025



可児キャンパス 〒509-0293 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3
TEL.0574-65-6555

- 助産学専攻科
- 看護学部 ■ 看護学科
- 薬学部 ■ 薬学科

交通アクセス：名鉄西可児駅、JR美濃太田駅よりスクールバスで

関キャンパス 〒501-3892 岐阜県関市市平賀字長峰795-1
TEL.0575-22-9401

- 保健科学部 ■ 臨床検査学科 ■ 放射線技術学科
- 大学院 ■ 保健医療学研究科

交通アクセス：岐阜バスターミナルより岐阜バス(路線バス)で
名鉄犬山駅、JR美濃太田駅よりスクールバスで

お問い合わせ先

関キャンパス TEL 0575-22-9401 (代) FAX 0575-23-0884

☎ 0120-23-4186 (入試広報課直通)

公式ホームページ <http://www.u-gifu-ms.ac.jp/>



温かく誠実な心、強い精神力・使命感で、生命の誕生を支える。

■ 専攻科教育目的



1 人間性豊かで対象の生命・人格を尊重できる
誠実な助産師を育成する。

2 母子の社会環境の変化や、産科医療の高度化ならびに
助産ケアの多様性に対応できる知識と技術を身につける。

3 きめ細かい助産活動が展開でき、母子保健の向上に寄
与できる人材を育成する。

■ カリキュラム (修了要件34単位)

助産学基礎領域 (7単位)

助産学概論／ライフサイクルとウイメンズヘルス／周産期の生殖／女性と生殖系疾患／
乳幼児の成長・発達／生殖の生命倫理／家族心理学

助産学実践領域 (27単位)

助産診断・技術学I(フィジカルアセスメント)／助産診断・技術学II(妊娠期)／助産診断・技術学III(分娩期)
助産診断・技術学IV(産褥・新生児期)／助産診断・技術学V(助産過程と臨床推論)／助産診断・技術学VI(ハイ
リスクケア)／女性と東洋医学／保健指導技術／助産学研究／地域母子保健論
助産管理論／助産学実習I／助産学実習II／助産管理実習

【教員一覧】〈教授〉今田 葉子 〈講師〉澤田 未緒 〈助手〉鷲見 陽恵

入学定員	20名程度(女子のみ)
修業年限	1年
取得できる資格	助産師(国家試験受験資格) 受胎調節実地指導員 新生児蘇生法(Aコース)修了認定
主な出願資格	看護師資格及び学士の学位を有すること(見込みを含む) ※学位=看護学士のみに限らない

詳細は入試広報課までお問合せください。



新生児蘇生法(Aコース)講習会



家庭訪問(学内演習)

■ 年間スケジュール

4月	オリエンテーション／就職セミナー
5月	講義・4週目～分娩助産実習スタート
6月	講義・演習／特別講義(国家試験対策)／定期試験&分娩助産テスト
7月	助産学実習I(5単位):病院・診療所 分娩助産5例程度／新生児・間接助産5例程度／帝王切開1例 継続受け持ち事例1例(妊婦健診から産褥1か月もしくは4か月まで受け持ち)
8月	7月:第1回助産師国家試験模試 8月: 両親学級実施 ／ 第1回実習学びの報告会
9月	助産学実習II(7単位):病院・診療所・保健センター 分娩助産5例程度【継続事例1例含む】 新生児・間接助産5例程度／家庭訪問/2週間・1か月健診・4か月健診
10月	9月: 新生児蘇生法(Aコース)講習会 ／第2回助産師国家試験模試
11月	11月: 第3回助産師国家試験模試 ／ 第2回実習学びの報告会
12月	助産管理実習(1単位):助産所 第4回助産師国家試験模試／助産学研究(事例研究)論文提出
1月	第5・6回助産師国家試験模試／国家試験実力テスト／補講 特別講義(国家試験対策)
2月	補講／第7回助産師国家試験模試 助産師国家試験 助産学研究(事例研究)発表会 分娩助産実習
3月	修了証書授与式／国家試験の合格発表

助産学実習I・II (7~12月)



助産学実習では実際の分娩助産事例を10例受け持つことになります。実習は昼間だけではありません。多岐にわたる実習をしながら、助産学研究が必要となるデータ収集も行います。分娩助産をさせてくださる産婦さまと、その家族の方々への感謝の気持ちを忘れずに、事例を通して適切なケアをしっかりと学習します。

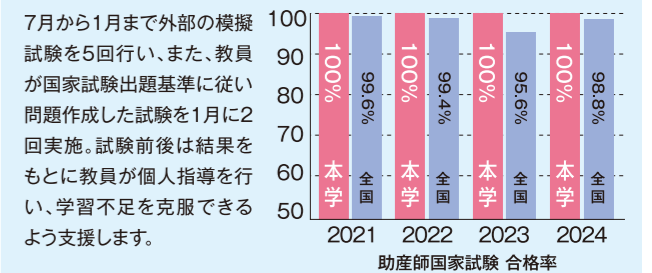
両親学級実施 (8月)



快適な妊娠・分娩期を過ごしていただくため、妊産婦体操・呼吸法・補助動作・分娩のデモンストレーションに至るまで、妊婦さまとそのパートナーをサポートしていきます。一方で、参加者の不安や悩みを直接伺く機会となり、助産師の役割を再認識することができます。

国家試験 受験資格取得

自分にあった学習方法を見つけることができるよう指導し、
国家試験合格を目指します。



学生募集 入学試験概要

2025年度 <助産学専攻科>

助産学専攻科の求める学生像

自分の考えを明確に述べることができ、コミュニケーション能力のある人。特に、助産師として実践の場で活躍することを目指し、誠実、明朗で助産師になりたいという強い意志を持っている人。

【募集方法】

上記のような学生を選抜するために、次のような募集方法を行っています。

- ①推薦選抜(特別推薦・公募推薦)
- ②一般選抜

【修業年限】 1年

【入学定員】 女子のみ 20名程度

※各募集人員の内訳は、2025年度学生募集要項で、ご確認ください。

【出願資格】

次の1)~7)に掲げる要件のいずれかに該当する女性で、かつ、看護師資格を有する者、または出願時において看護師国家試験の受験資格を有する者(取得見込みの者を含む)。ただし、入学時には看護師国家試験に合格していることが必要である。

- 1)大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
- 2)学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、または2025年3月31日までに授与される見込みの者
- 3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
- 4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
- 5)我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
- 6)専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
- 7)文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

推薦選抜(特別推薦・公募推薦共に専願制)

●特別推薦

試験地	本学(可児キャンパス)
入試実施日	2024年9月
選抜方法	提出書類と学部・学科成績による評価、面接により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。
対象	岐阜医療科学大学の卒業生(卒業見込み含む)もしくは岐阜医療技術短期大学の卒業生。(専攻科地域看護学専攻修了生含む)

●公募推薦

試験地	本学(可児キャンパス)
入試実施日	2024年9月
選抜方法	提出書類の評価・小論文試験(学力を問う問題含む)・面接により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

一般選抜

試験地	本学(可児キャンパス)
入試実施日	2024年11月
選抜方法	提出書類の評価・学力試験・面接により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。 ・学力試験の出題範囲:母性看護学

※詳細は「学生募集要項」でご確認ください。